

済生会和歌山病院 外科 後期研修医研修プログラム

はじめに

済生会和歌山病院外科の特徴は、血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科等の種々の手術を経験できることです。また、診断、手術、麻酔、術後管理を1つのチームで行うので、臨床医としての知識、スキルをバランスよく学ぶことができます。

1. 診療科 (専門領域)

外科、心臓血管外科

2. 対象

2年間の初期臨床研修修了者。2年間の研修が可能な者。

3. 目標

病棟業務、外来診療、手術、麻酔、検査を通じて外科診療全体を一人前に行える手技と知識の習得を育む。他科、Co・Medicalとのチーム医療や多くの臨床経験を通じて、患者さんに信頼される医師をめざす。

4. 取得手技

腹部、胸部、血管、乳腺手術の一般手技。
超音波、内視鏡、血管造影等の検査手技。
外来診療、病棟業務がふつうに行える技量。
全身麻酔、硬膜外、脊髄くも膜下麻酔手技。

5. 取得資格

外科専門医資格
麻酔科標榜医資格

6. 募集人数

2名。

7. 研修、学会活動

院内外で開催されている関連領域の研究会、勉強会へは積極的に参加するようにする。また学会活動を積極的に行い、最新の知識の獲得と情報発信をめざす。

8. 具体的な活動

1年目 (卒後3年目)

すべての疾患(血管病、呼吸器、消化器、乳腺)の入院患者の主治医として診断、手術の知識を習得する。

開胸開腹手技、表在血管の剥離手技、全身麻酔手技、硬膜外、脊髄くも膜下麻酔手技を習得する。

ソケイヘルニア、下肢静脈瘤等の基礎的手術の術者となる。胃、大腸などの一般的な手術の助手ができるようになる。

2年目（卒後4年目）

患者さんの主治医として、診断、手術の知識だけでなく、スキルを確実なものとする。

一般的な手術の術者となる。食道、肺、大血管、肝臓などの難手術の助手ができるようになる。

希望があれば、内科、整形外科などの他科への研修も可能。

自分が受け持った患者さんや、疾患について、臨床研究、学会活動を積極的に行う。診療方針を計画できるようになる。

将来の自分の進む専門分野を見据えて、診療を行う。

すべての研修期間を通じて、研修医を含む後輩医師に対する教育も行わせ、将来指導医となるための研修を行う。